

○高齢者向け住宅の供給目標の変更案について

※ 高齢者向け住宅とは、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、高齢者向け優良賃貸住宅、シルバーハウジング等をいう。

＜現行計画の目標に対する進捗状況＞

現行計画の目標値（平成28年度～令和7年度）

新たに必要となる戸数	必要となる戸数 (既存の住宅も含む)
20,000戸	100,000戸

第1回部会時点の高齢者向け住宅の供給実績
(令和元年度末時点)

新たに必要となる戸数の 供給実績	戸数 (既存の住宅も含む)
13,230戸	91,078戸

第4回部会時点の高齢者向け住宅の供給実績
(令和2年度末時点)

新たに必要となる戸数の 供給実績	戸数 (既存の住宅も含む)
18,127戸	95,975戸

＜第1回部会における目標値の案＞

期間	新たに必要となる 戸数	必要となる戸数 (既存の住宅も含む)
令和3年度～ 令和12年度	8,000戸	100,000戸

＜目標値の考え方＞

現行計画に引き続き、住生活基本計画（全国計画）に示されている「高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合4%（令和12年度）」を目標として設定する

府内の高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合（令和元年度末時点）：3.83%

＜第4回部会における目標値の変更案＞

府内の高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合（令和2年度末時点）：4.03%

住生活基本計画（全国計画）に示されている「高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合4%」に到達

方針（案）

目標値である10万戸について近年中に達成が見込まれるため、高齢者向け住宅の戸数は、観測指標とする。

○府内の高齢者向け住まいの状況（類型別）

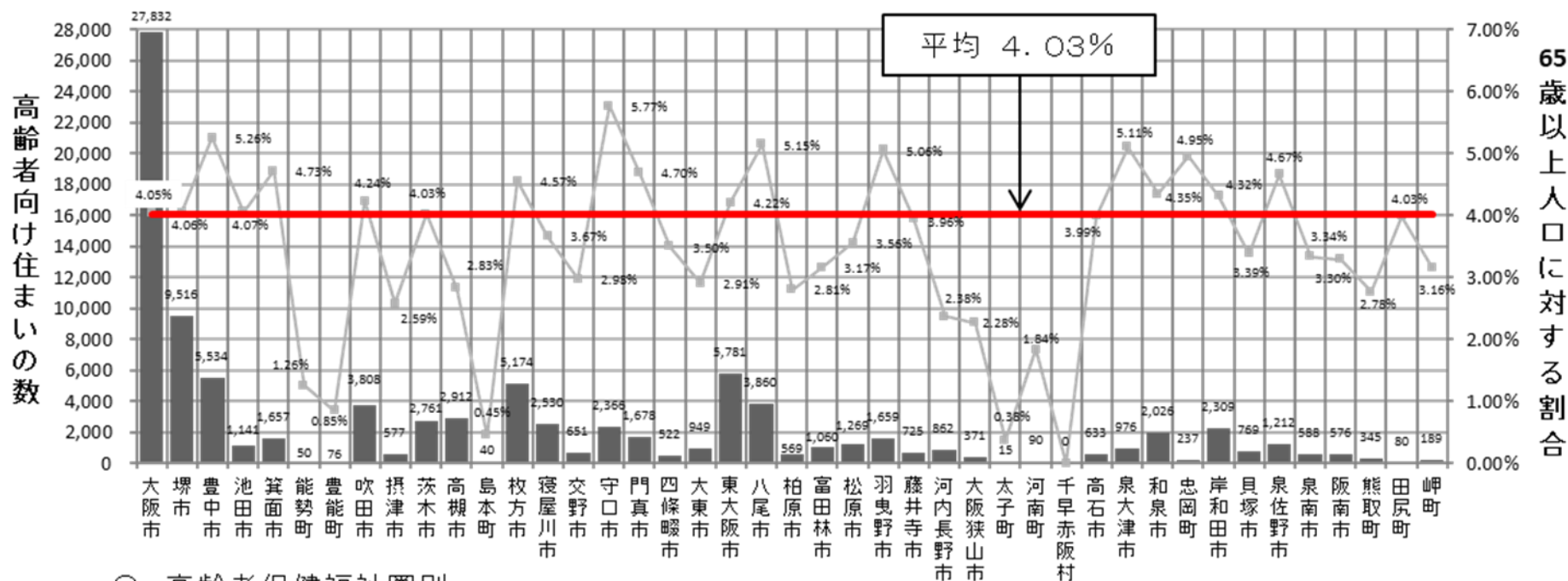
○大阪府内の高齢者向け住まい（高優賃、シルバーハウジング、サ高住、有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム）の戸数は、95,975戸（令和3年3月末時点）

※高齢者向け住宅のうち、高優賃、サ高住については、定年退職により収入や生活が大きく変化する前に居住の安定を確保しておくことが望ましい（公営住宅法逐条解説）との考え方などから、法制度上、「60歳以上」を入居要件としている。

		住まいの種別				提供介護サービス				
高齢者向け住まい	一般の住宅	1. 持家・借家 【必要に応じたバリアフリー化や生活支援サービス】		2. 高齢者向け優良賃貸住宅 【緊急時対応サービス、家賃低廉化】 5,607戸 （令和3年3月末時点）		自宅等で居宅サービス・地域密着型サービスを受ける				
	サービス提供のある賃貸住宅等	3. シルバーハウジング 【公営住宅入居者への生活援助】 1,198戸 （令和2年3月末時点）		4. サービス付き高齢者向け住宅 【安否確認、生活相談サービスのついた住居】 29,874戸 （令和3年3月末時点）				5. 有料老人ホーム 【食事や介護、その他日常生活上必要なサービスを提供】 51,420人 （令和3年4月1日時点）		
	老人福祉施設	6. 養護老人ホーム 【環境的、経済的に困窮した高齢者の施設】 2,262人 （令和3年4月1日時点）		7. 軽費老人ホーム 【低所得高齢者のための住居】 5,614人 （令和3年4月1日時点）						
施設	介護保険施設等	8. 認知症高齢者グループホーム 【認知症高齢者の共同生活】 11,577人 （令和2年3月31日時点）		9. 介護老人保健施設 【医学的管理下での介護、機能訓練】 21,210人 （令和3年4月1日時点）		10. 特別養護老人ホーム 【介護、機能訓練】 ※地域密着型含む 37,604人 （令和3年4月1日時点）		11. 介護療養型医療施設 【長期療養患者の入院施設】 521人 （令和3年4月1日時点）		施設で施設・居住系サービスを受ける

○府内の高齢者向け住宅の状況（市町村別）

65才以上の人口に占める高齢者向け住まいの割合は4.03%。地域別に見ると一部の町村で低い値があるが、保健福祉圏別では大きな格差は見られない。（令和3年3月末時点）



○ 高齢者保健福祉圏別

高齢者保健福祉圏	大阪市	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州
戸数	27,832	12,266	6,290	11,670	10,210	6,051	9,516	9,940
65歳以上人口に対する割合	4.05%	4.52%	3.10%	4.20%	4.40%	3.29%	4.06%	4.07%

※65歳以上人口は、介護保険事業状況報告月報（R3.1）における第1号被保険者数（府合計：2,383,557人）